

要 望 書

男女共同参画と災害・復興ネットワーク

平成 27 年 4 月 23 日

平成 27 年 4 月 23 日

独立行政法人国際協力機構

理事長

田中 明彦 殿

男女共同参画と災害・復興ネットワーク

代 表 堂 本 暁 子

副代表 原 ひろ子

「仙台防災枠組 2015－2030」の実施に関する要望書

平素、JICA が途上国の防災対策において、国際協力に貢献され、各国の信頼を得られていることに敬意を表します。

仙台市において開催された第3回国連防災世界会議は、世界187か国の参加を得て「仙台防災枠組 2015－2030」が採択され、成功裡に終わりました。

私たち「男女共同参画と災害・復興ネットワーク」(JWNDRR)は、新しい行動指針策定に向けて、防災・復興の政策や計画に男女共同参画の視点を取り入れるよう要望してまいりました。今回採択された「仙台防災枠組 2015－2030」に、重要な事項として、防災・復興に関連する政策立案、並びに運営実施への女性の参画、女性のリーダーシップの推進、男女別統計の重要性が明記されたことは嬉しい限りです。

貴機構におかれましては、私たちが3月18日午後に主催した、パブリックフォーラム「女性の力で変革を～男女共同参画と災害リスク削減～」の開催にご後援をいただき、さらに当日は、堂道副理事長にご臨席賜り、ご来賓挨拶をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

安倍総理大臣は、総会セッションで「仙台防災協力イニシアティブ」を
発表され「今後 4 年間で 4 万人の防災・復興リーダーを育成する」ことを
示されました。さらにハイレベル・マルチステークホルダー対話では「こ
のイニシアティブの主要プロジェクトのひとつとして、防災における女性
のリーダーシップ推進研修を開始する」と明言され、世界に向けて女性の
リーダーシップの重要性を訴えられました。

これらは、平素 JICA が途上国の防災対策等、国際協力に貢献されてい
ることを踏まえたものであり、ジェンダー平等の視点に立つ人材育成事業
に期待し、下記事項について特段のご配慮をいただきたく、強く要望いた
します。

記

1. 「仙台防災協力イニシアティブ」の主要プロジェクトのひとつと
して、開始される「防災における女性のリーダーシップ推進研修」プ
ログラムの開発に当たっては、国際的な災害とジェンダーに関する知
見・経験を持つ専門家を招聘し、「仙台防災枠組」を踏まえたトレーニ
ングについて包括的な戦略を策定する国際フォーラムを政府機関や
NGO/NPO との連携により開催すること。
2. 仙台防災協力イニシアティブにおいて示された「防災における女
性のリーダーシップ推進研修」を国際協力の一環として速やかに実施
すること。
3. JWNDRR は、男女共同参画と災害リスク削減に向けた国際的なト
レーニング・イニシアティブの開発を提案しており、上記リーダーシ
ップ研修に関して、その内容が組み入れられること。
4. 上記研修を充実するため、途上国に調査団を派遣して、途上国がど
のような災害とジェンダー研修のニーズ・課題があるのかについて、
必要な調査を実施すること。